

令和4年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査の変更点について

令和4年度教員採用候補者選考審査要綱の変更について（案）

徳島県教育委員会

変 更 点

1 審査内容を変更

- ・現 状 （1次審査） 集団面接・（2次審査） 論文審査
- ・変更後 （1次審査） 論文審査・（2次審査） 集団面接

- ・1次審査は上記の他に筆記審査（教養・専門）並びに中学校教諭・高等学校教諭の実技（音・美・保体・書）審査を行う
- ・2次審査は、上記の他に小学校実技（体育・音楽の選択，英語），模擬授業・個人面接を実施する

2 1次審査（専門審査）の時間短縮及び問題数を削減

- ・1次審査の時間を90分から80分に，中学校教諭・高等学校教諭「英語」は60分に短縮する

3 小学校教諭2次審査における水泳実技審査を廃止

4 一般選考・特別選考①（教員免許状を有する社会人選考）⑥（臨時教員に係る選考）の年齢要件の撤廃

- ・現 状 49歳以下
- ・変更後 59歳以下

- ・昭和37年4月2日以降に生まれた者を対象とする

5 特別選考②（特別免許状授与を前提とした社会人選考）に高等学校教諭「音楽」「美術」を追加

6 特別選考④（現職教員を対象とした選考）出願資格の追加

- ・県内の現職教員も特別選考④の対象とする

7 優秀な「英語」教員確保のための選考方法の多様化

(1) C E F R B 2 相当有資格者の1次審査を免除

(2) 〈英語エキスパート特別選考（仮称）〉 新設

英語の教員免許状を有し，次の条件を満たす者は1次審査を免除

学校施設等	経 験 等
・海外留学	・1年以上の英語を使用した海外留学経験者又は，「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」参加者
・青年海外協力隊	・1年以上の英語を使用した青年海外協力隊参加者
・在外教育施設等	・1年以上の英語を使用した在外教育施設等勤務者

(3) C E F R B 2 相当の大学・大学院推薦枠（1次審査免除） 新設

- ・特別選考⑧（大学・大学院推薦による特別選考）に「英語」を追加する

(4) C E F R B 1 相当有資格者 ⇒ 1次審査の受審を課す

1次，2次審査において4技能を審査する

別紙「大学入試英語成績提供システム参加予定の資格・検定試験とCEFRとの対照表」参照

(5) 中学校教諭「英語」と小学校教諭の併願を可能とする

- ・1次審査において，中学校教諭「英語」の審査に加えて，小学校「専門審査」を受審することで，併願を可能とする

8 特別支援等専修免許状又は普通免許状の取得による加点制度を新設

小・中・高等学校教諭に出願し，特別支援学校教諭，盲学校教諭，聾学校教諭又は養護学校教諭のいずれかの専修免許状又は普通免許状を有する者は，1次審査の総合点に加点する

優秀な「英語」教員確保のための選考方法の多様化

教員免許状取得者

小学校教員免許状取得者は中学校教諭「英語」と小学校教諭の併願が可能

CEFR 有資格者

大学・院推薦

1年以上、英語を使用した活動経験

B1
相当有資格者

B2
相当有資格者

B2
相当の能力があると
大学・院が認めた者

- ① 海外留学経験者
- ② 「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」参加者
- ③ 青年海外協力隊参加者
- ④ 在外教育施設等勤務者

1次審査受審
筆記・論文

1次, 2次審査において
4技能を審査する

一次審査免除

一次審査免除

一次審査免除

2次審査受審

集団面接・模擬授業・個人面接

中学校教諭「英語」・高等学校教諭「英語」

大学入試英語成績提供システム参加予定の資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省作成「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（平成30年3月）」より令和元年7月作成

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 英検 CBT: 2級-3級 英検2020 1day S-CBT: 準1級-3級 英検2020 2days S-Interview: 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT
C2	230 200 (210) C2 Proficiency	各級CEFR 算出範囲 (3299)	各試験CEFR 算出範囲 (1400)	9.0 8.5			
C1	199 180 (190) C1 Advanced	3299 2600 (2630)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95
B2	179 160 (170) B2 First for Schools	2599 2300 (2599) 準1級	1349 1190 (1280) Advanced CBT	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72
B1	159 140 (150) B1 Preliminary for Schools	2299 1950 (2299) 準2級	1189 960 (1080) Basic CBT	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42
A2	139 120 (130) A2 Key for Schools	1949 1700 (1949) 準3級	959 690 (840)		224 135	415 235	
A1	119 100 (100) 各試験CEFR 算出範囲	1699 1400 (1699) 1456	689 270 (270)				

- 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
- ※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上側に位置付けられているCEFRの判定が行われる。
- ※ 障害等のある受験生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。
- ※ 実用英語技能検定における「英検2020 2days S-Interview」については、合理的配慮が必要な障害等のある受験者のみを対象としている。
- ※ TOEIC® Listening & Reading TestおよびTOEIC® Speaking & Writing Tests（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）は2019年7月2日に参加申込みを取り下げたため、記載していない。